

記入例 2

【様式2】

学生等の学びを継続するための緊急給付金を受けるための要件に係る誓約書

・自宅外：アパート等の賃貸契約書（契約期間内のもの）、直近の家賃等支払い根拠書類（水道光熱費の支払明細書可）、住民票のいずれかのコピーを提出
 ・自宅：申請書「3.申し送り事項」に記入

なるべく預貯金通帳の写し（仕送り金額記載箇所）を提出

| 要件チェック項目 | チェック欄(レ) | 金額(年額) |
|--|----------|--------|
| ①自宅外で生活している又は自宅で生活しているが家庭から支援を受けていない | ✓ | |
| ②家庭から多額の仕送りを受けていない。1年生は家庭からの仕送り予定額、2年生以上は2020年度の仕送り実績額を提出 ・公的支援の受給証明書等を提出（提出可能な場合） ・受給証明書等を提出できない場合、申請書「3.申し送り事項」に記入 | ✓ | 50 万円 |
| ③家庭(両親のいずれか)により、家庭からの追加的支援が期待できない | ✓ | |
| ④新型コロナウイルス感染症によりアルバイト収入(雇用調整助成金による休業補償を含む。)に影響を受けており、1)~3)いずれかの状況となっている | ✓ | |
| 1)新型コロナウイルス感染症の影響で想定していたアルバイト収入が得られなかった状況が申請書「3.申し送り事項」に事情等を記入 | ✓ | |
| 2)コロナ禍前の仕送り実績額と比較して、2020年1月以降の2か月分で減少がわかるものを提出 | | |
| 3)アルバイト収入が減少している場合の受給証明書等（提出可能な場合） | | |
| ⑤既存の支援制度について以下のいずれかを満たす | | |
| 1)高等教育の修学支援新制度に申し込みをしている者若しくは今後利用を行う者 | ✓ | |
| 2)高等教育の修学支援新制度(第一種奨学金(無利子奨学金)(奨学生証)等)を利用している者 | | |
| 3)要件を満たさないが、第一種奨学金(無利子奨学金)を利用できないが、民間等を含め申請が可能な支援制度、外国人留学生学習奨励費等を利用している者若しくは利用を予定している者 | | |

上記の内容に相違ないことを誓約し、申請内容に虚偽があった場合は返金することに同意します。

令和 4 年 3 月 日

学校名 広島工業大学 学部/研究科名 〇〇学部

学籍番号 〇〇〇〇〇〇〇

署名: 工大 太郎